

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2004年5月18日

2004年5月16日現在の概況：

過去1週間の気象概況は、湿潤・平年以下の気温であった。各地で降雨が記録されたが、州東部は部分的な驟雨が多かった。1週間の降雨量は Willamette 盆地では 0.09～0.25 インチ、NC 地区では 0.07～0.83 インチであった。Moro 観測所では 0.17、Pendleton では 0.18 インチを記録した。最高気温は 69～78 度 F 程度であり平均気温は平年を 2～4 度下回った。標高の高い地方では降雪があった。1週間の州平均農作業稼働日数は 5.8 日（前週：6.5 日）であった。

これまでの乾燥気象は小麦の生育を推し進め、冬小麦は昨年並びに平年より早く出穂しだした。土壌水分は多少改善されたが、冬小麦の作柄は前週より悪化した。Morrow 郡のシーズン降水量は 8.79 インチであり略平年並と成ったが、過去4年間の早魃より Subsoil の土壌水分は極端に不足しており、同郡の冬小麦の 20%が水分不足により緑色ではなく“Blue”を呈している。この先10日間の降雨の有無が冬小麦の単位収量に決定的な影響を与えるであろうと予測された。Sherman 郡の冬小麦は出穂を開始した。圃場にて Sawfly（ハバチ）の存在が報告された。Sawfly は小麦の茎に産卵し幼虫が茎及び葉を喰害する。春小麦の圃場の 89%が出芽した（昨年：77%）。播種作業は進み略全州にて終了した。出芽は昨年より早い進捗であった。

USDA の 5 月 1 日付け冬小麦生産量予想によれば、2004 年産冬小麦の単位収量は 53.0 ブッシェル/エーカーであり昨年実績の 51.0 ブッシェルを上回っている。生産量は作付面積が減少したことより、昨年より 7.2%減の 44,520,000 ブッシェル（昨年：47,940,000 ブッシェル）であった。

土壌水分：5月16日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	3	43	53	1
Subsoil (%)	6	42	50	2

小麦生育状況：5月16日現在

Winter wheat	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Headed (%)	28	11	6	10

Spring wheat	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Emerged (%)	89	85	77	NA

小麦作柄状況：5月16日現在

Winter Wheat	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	1	16	39	36	8
Last Week (%)	1	10	41	42	6
Spring wheat (%)	NA	NA	NA	NA	NA

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2004年5月1日付けUSDA発表冬小麦生産量予想：

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bu/acre		Production 1,000 bushels		
	2003	2004	2003	2004	2002	2003	2004
Oregon	940	840	51.0	53.0	29,820	47,940	44,520
U. S.	36,541	35,082	46.7	44.2	1,137,001	1,707,069	1,550,395

2004年3月USDA発表小麦作付面積：

	Area Planted (1,000 acres)			
	2002	2003	2004	2004/2003
Winter wheat	800	970	870	90%
Spring wheat	145	145	150	103%
State Total	945	1,115	1,020	91%

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>